やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」（青森）発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	29 / 2011 / 18
タイトル	青森市住宅地でのオオモンシロチョウ採集事例(第２報)
著　者　名	武田昭郎

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	29 / 2011 / 18
タイトル	青森市野内で採集のオオモンシロチョウ飼育記録(2010 年)
著　者　名	山道忠郎

青森市住宅地でのオオモンシロチョウ採集事例（第2報）

筆者は、会報20号（2006）で、青森市佃3丁目の自宅庭でのオオモンシロチョウの採集事例などについて報告したところであるが、その後も採集しているので2007年から2010年の結果について報告する。本種は10数年前に青森県の蝶相に加わったもので、その定着状況を判断するためにもこのようなデータの蓄積は必要なことと考える。下記のデータ一覧のように2010年には1頭も採集できなかった。

第10代　武田昭郎

記

青森市佃3丁目

2007−9−16	1♀	2007−10−2	1♀
2008−9−30	1♂	2008−10−2	1♀
2009−9−20	1♀	2009−9−22	1♂1♀

青森市野内で採集のオオモンシロチョウ飼育記録（2010年）

青森市野内菊川にある菜園のブロッコリー数株がオオモンシロチョウに食害されていた。その1株を青森市桜川の自宅に持ち帰り飼育したが、本種の県内定着を考えるうえで些細な記録でも報告したほうが良いという室谷洋司氏の指摘があったので要点を記しておく。

2010年6月21日、終令幼虫と思われる約100頭の幼虫を株ごと持ち帰る。蛹も数頭付着していた。6月23日、蛹化しはじめた幼虫が2～3頭。食草がたりなくなったので補充。6月24日、72頭が蛹化、他は前蛹。6蛹に寄生蜂の黄色繭が認められる。6月25日、残り10頭も蛹化。6月26日で蛹化終了、全体の1割ほどに蜂の寄生が見られた。

6月30日、1頭羽化、7月5日、22頭羽化、7月6日で寄生されなかった個体がすべて羽化した。羽化日の1週間ほどのズレから、この持ち帰った幼虫集団は1♀によって一度に産卵されたものではないと思われた。

第14代　山道忠郎